

盛夏の候、貴殿にはますますご健勝のことと存じます。

インターネットで情報収集していたところ、近隣に貴殿のような聡明で正義感ある人物がいることを発見し、お忙しい中とは存じますが、ご助力願いたきたくお手紙を出させていただきました。

さて、本日情報展開させていただくのは、

宮代町にある日本工業大学の事務職員不正採用についてになります。

私立大学にも多額の国民の血税が使われているのは周知の事実であります、

その職員の採用について、公正・公平であるべきにも関わらず、

件の大学は破廉恥極まりない採用を行いました。

以下に詳細を記載します。(別紙についてもご参照願います。当時の募集要項等になります。)

平成 30 年 4 月に任用された、"佐藤ほなみ"は、その父親、"佐藤住夫"が日本工業大学の卒業生であり、卒業生が集まる飲み会の席で大学教授と懇意になったことを切っ掛けに口利きを行い、不正採用されました。佐藤は募集要項の応募資格である、5 年以上の実務経験がないにも関わらず、(採用試験時 24 歳。1994 年生まれのため、4 年制大学を卒業し 5 年の実務を経験するには最低でも 27 歳にならなければ資格はありません)本来受けるべき選考過程をも飛ばし、採用予定数 3 名のところに無理やり捻じ込み、追加で採用された挙句、採用されてからは真摯に業務に当たろうとせず給料だけ貰う有様です。

一方、世間には様々な就職差別を受けながらも必死に職を求める方々がいらっしやいます。有能であるにも関わらず、身体、精神に問題ありと一方的に断じられ、就職のスタートラインにも立てぬ者もいれば、佐藤のような無能が何の苦労もなく就職してしまう世の中は、あまりにも歪ではないでしょうか。また、日本工業大学は障がい者採用を一切行っていない点でも大問題であります。

是非、貴殿のお力で、この卑しい実態を関係各所に展開、周知、情報共有を行い、是正を働きかけるよう依頼して頂きたく存じます。

末筆ながら以上となります。